

社会福祉充実残額算定シート

1.「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産(a)	535,357,389
負債(b)	383,330,378
基本金(c)	44,699,498
国庫補助金等特別積立金(d)	142,889,261
合計(a-b-c-d)	-35,561,748

- 手入力(必須入力)するセルです(※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。)
- 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください)
- 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。
- プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2.「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1)財産目録における貸借対照表価額

合計(a)	480,418,266
-------	-------------

(2)対応負債

項目	金額
1年以内返済予定設備資金借入金	18,804,000
1年以内返済予定リース債務	0
設備資金借入金	341,048,000
リース債務	0
合計(b)	359,852,000

(3)合計

項目	金額
財産目録合計(a)	480,418,266
対応負債合計(b)	359,852,000
対応基本金(c)	44,699,498
国庫補助金等特別積立金(d)	142,889,261
合計(a-b-c-d)	0

3.「再取得に必要な財産」

(1)将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率					自己資金比率			合計額	
						①建設工事費 デフレクター	②1㎡当たり単価上昇率			①、②のいずれか 高い方の率	③一般の自己 資金比率	④建設時自己資金比率			③、④のいずれか 高い方の率
							一般的1㎡当たり 単価(a)	当該建物の建設時の取得 価額(b)	建設時延べ床 面積(c)			a/(b/c)	建設時自己資金 (d)		
長岡市小国町太郎丸字野田1520-1他	2012				67,809,615	1.063	250,000	521,612,447			1.063	22%		22.0%	15,857,956
合計															15,857,956

※割合は小数点第4位四捨五入。

(2)大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ((a×b)× c/(a+c))	
67,809,615	30%			453,802,832	17,698,309	17,698,309

(3)設備・車輛等の更新に必要な費用

合計	46,509,586
----	------------

(4)合計

項目	金額
将来の建替費用	15,857,956
大規模修繕に必要な費用	17,698,309
設備・車輛等の更新に必要な費用	46,509,586
合計	80,065,851

4.「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額	
年間事業活動支出	176,303,871	12	3	44,075,967

5.「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額	
年間事業活動支出	176,303,871	12	12	176,303,871

6.「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	-35,561,748	176,303,871	※「5.計算の特例」の 適用有無を変更する場 合、以下のセルから選 択すること。
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	0		
再取得に必要な財産	0		
必要な運転資金	0		
計算の特例	176,303,871		
合計	-211,860,000		適用する

7.「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

項目	金額
社会福祉充実残額	-211,860,000
社会福祉充実計画用財産	0
合計	-211,860,000